

**例題 1** ある飼料の成分は、水分11%、粗蛋白質15%、粗脂肪 3 %、可溶無窒素物 34%、粗繊維 22%、粗灰分15%で、このうち、牛における可消化成分の消化率は、順に70%、60%、80%、50%である。この飼料の可消化養分総量はおよそ何%か。

1. 43%
2. 48%
3. 53%
4. 58%
5. 63%

正答番号 3

## 例題 2

次の文章は「令和2年度食料・農業・農村白書」に基づく、我が国の肉用牛の生産基盤の強化に関する記述である。文章中の空欄 a～c に入るものの組合せとして正しいのはどれか。

農林水産省は、肉用牛の生産基盤の強化を図るため、等の支援組織の機能強化を支援し、生産性の向上と省力化を推進している。また、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するためのにより経営の体質強化を進め、さらに輸出の拡大に向けて和牛の生産拡大を進めるため、繁殖雌牛を対象としたの交付等を行っている。

a	b	c
1. コントラクター	畜産環境対策総合支援事業	日本型直接支払
2. コントラクター	畜産クラスター事業	増頭奨励金
3. GPセンター	畜産環境対策総合支援事業	日本型直接支払
4. GPセンター	畜産クラスター事業	増頭奨励金
5. GPセンター	畜産クラスター事業	日本型直接支払

正答番号 2